

持続可能な社会の実現のために地域に根差した継続的な活動を支援 第20回「TOTO水環境基金」助成先団体を決定 ～国内11団体、海外5団体に計2,759万円を助成～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、このたび第20回「TOTO水環境基金」の助成先団体を決定しました。

選考の結果、国内11団体、海外5団体の計16団体に計2,759万円を助成します。これにより2025年度は、既に活動中の7団体とあわせて、合計23団体のプロジェクトへの支援となります。2005年の設立以来、のべ332団体に対して4億9,908万円を助成し、活動地域は国内43都道府県、海外18カ国に及びます。

TOTOは創立以来「水」に関わる事業を展開してきた企業として、2030年に「持続可能な社会」と「きれいで快適・健康な暮らし」の実現を目指す、「共通価値創造戦略 TOTO WILL2030」のもと、地域社会の発展と地球環境の保護に貢献する活動を積極的に推進することで、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に貢献し、今後も世界で必要とされ続ける会社を目指します。

「TOTO水環境基金」について

TOTOグループは、持続可能な社会の実現のためには、企業の事業活動による貢献だけでなく、地域を支える団体の活動が欠かせないと考えています。地域を支える団体と協働で社会課題の解決を目指すために、2005年度に「TOTO水環境基金」を設立し、地域の水と暮らしの関係を見直す継続的な活動を支援しています。

「地域に根ざした活動となりえるか」「一過性の活動ではなく、継続性があるか」を中心に選考を行い、想いを同じくする団体とプロジェクトを実施しています。当基金は助成によって活動を後押しするだけでなく、最寄りの事業所のグループ社員が中心となって積極的にボランティア活動に参加する「協働」にも力を入れています。

助成団体の活動の様子 写真:過去の活動の様子

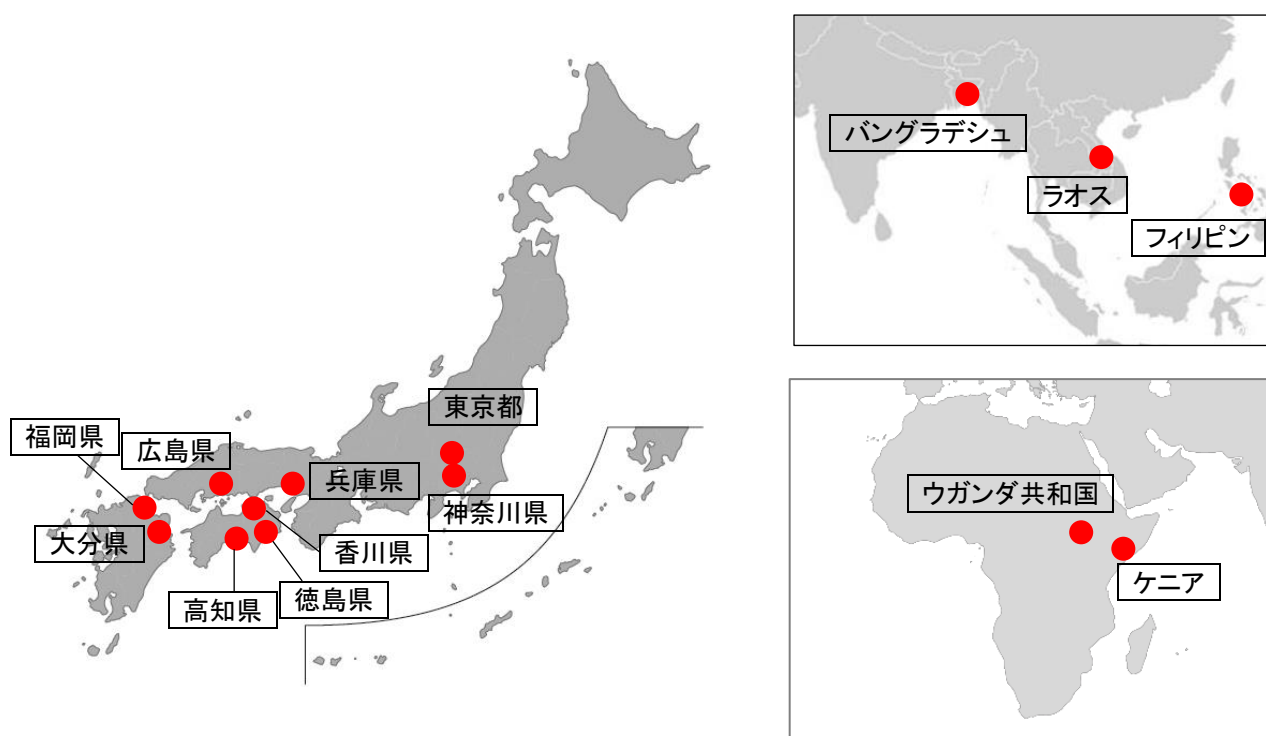


川での清掃活動(岡山)



学校に設置した雨水タンク(ミャンマー)

第20回「TOTO水環境基金」助成プロジェクトの活動地



第20回「TOTO水環境基金」助成先団体一覧

	団体名 『プロジェクト名』	活動地域	活動内容
1	白子川源流・水辺の会 『地域社会を巻き込んだ 白子川源流の自然環境の保全』	東京都	東京23区内では稀有となっている絶滅危惧種が生息する白子川源流の自然環境の保全、回復、創生を図り、定例保全活動の拡充および地域社会と白子川の関係性の強化に取り組む。
2	DEXTE-K 『西なぎさ発：東京里海エイド』	東京都	ラムサール条約登録湿地である葛西干潟において、これまで行ってきたビーチクリーン活動に加え、都心にある素晴らしい生態系の存在や葛西干潟の魅力について、実体験を通じて伝えていく。
3	NPO法人暮らし・つながる森里川海 『湘南いきもの楽校プロジェクト 「子供が元気、生きもの元気、地域が元気」』	神奈川県	子どもたちが自然と触れ合う場所を整備するとともに、多様な環境学習活動を展開し、市民参加で生物多様性の保全活動やSDGs運動を推進していく。
4	一般社団法人BlueArch 『テクノロジーを用いて海の生態系を学び、育て、 海の恵を味わうことができる、 次世代の環境学習イベント開催』	神奈川県	地域の熟練漁業者と連携し、海の生物多様性の課題となっている磯焼け問題への対応策を子どもたちに実践してもらうことで、環境問題を自ら考えるきっかけを提供する。

	団体名 『プロジェクト名』	活動地域	活動内容
5	NPO法人アンビシャス コーポレーション 『外堀川クリーンプロジェクト』	兵庫県	当団体が長年にわたり取り組んできた市内中心を流れる外堀川の清掃活動について、効果的な活動にするための工夫を取り入れ、合わせて地域住民や行政機関に向けた情報発信を強化し、意識改革・課題認識の向上につなげていく。
6	古川トンボしらべ隊 『古川の水辺環境とトンボ相の保全に資する普及啓発活動』	広島県	広島県内に生息する絶滅危惧種を含むトンボの半数が生息している古川について、地域住民にその価値を伝え、生物や環境の大切さに気づき、「守り育みたい」という保全意識の醸成を図る。
7	NPO法人環境とくしまネットワーク 『僕らの海を取り戻そう！ 「せとうち未来スケッチ」プログラム』	徳島県	「せとうち鳴門海岸」での清掃活動を子どもたちの体験学習の場とし、「流木アート」作製、ワークショップ等のアクションを通して課題への理解を深めることによって次世代の育成につなげる。
8	NPO法人クリーンオーシャンアンサンブル 『河川ごみの海洋流出防止プロジェクト』	香川県	海洋ゴミの8割が河川から流出している課題に対し、河川ゴミの回収装置により、回収効率を向上させるシステムを確立させる。
9	ジンデ池生物研究所 『ジンデ池と里山をもっと生物多様性豊かな環境へ』	高知県	農業用ため池として作られた「ジンデ池」には絶滅危惧種である動植物の存在が確認されており、本プロジェクトでは、周辺も含めた里山環境の保全により生物多様性豊かな自然を守っていく。
10	東朽網校区まちづくり協議会 『水と緑の美化プロジェクト パート2 ～水晶山から曽根干潟 故郷の自然を次世代へ～』	福岡県	源流から干潟までの水環境と里山、里地、里海の環境保全、地域の希少生物や生物多様性保全の活動を多くの市民や企業と協働で行い、環境意識を醸成しながら豊かな自然を次世代に残すことを目指す。
11	APU ECOS(立命館アジア太平洋大学) 『「APU ECOSと未来のリーダーシップ」プロジェクト』	大分県	大学内だけでなく、地域のコミュニティ団体と協力して定期的を実施するビーチクリーンや環境教育、オーガニック農業などSDGsに関連した5つのプロジェクトを実施し、地域の子どもから高齢者まで国内外を問わず繋がりを深めて地域の活性化にも貢献する。
12	NPO法人ゴーシェア 『フィリピン・パンダノン島における、 命を支える水環境改善』	フィリピン	経済発展地域から遠く離れ支援の手が届いていない離島の最貧困エリアで、公共施設に貯水タンク・手洗い場およびトイレを新設し、安全な水へのアクセスと衛生環境を大幅に改善することにより、感染症・回虫に苦しむ子どもたちの健康状態を向上させる。
13	一般社団法人シェア・ザ・プラネット 『地下帯水層負担軽減稲作の普及』	バングラデシュ	井戸水の過剰な汲み上げがもたらす帯水層の低下により農業用水だけでなく飲料水の不足、ヒ素の流出が社会問題になっている地域において、節水農法の普及等によって帯水層の負担軽減を目指す。
14	国際連合ハビタット 福岡本部 『雨水貯水地下タンクの設置活動』	ラオス	気候変動に対する脆弱性が高い地区において、保健所および学校の屋根の雨水を地下に貯蔵するタンクを設置し、飲料可能な水質の水を作成する。

	団体名 『プロジェクト名』	活動地域	活動内容
15	NPO法人コンフロンティア 『自治体・住民連携型のウガンダ農村部の 子ども・弱者の水衛生環境改善』	ウガンダ	農村部において、主に子どもや貧困層の住民を対象として、トイレ建設、貯水タンク・井戸の整備、石鹸生産、衛生教育等を行うことによって、衛生環境の改善、安全な水へのアクセス、水衛生に関わる意識や能力の向上を図る。
16	認定NPO法人難民を助ける会 『難民と地元の女子生徒のための 学生寮衛生改善プロジェクト』	ケニア	難民居住地近隣にある学校の女子寮にトイレとシャワー室を建設し、女子生徒の衛生環境を改善する。また再利用可能な生理用ナプキンと石鹸を配布し、教員を通じた衛生啓発研修を実施することで、生徒たちの通学継続を支援する。

2025年度に助成する団体の内、すでに活動中の7団体

	団体名	プロジェクト名	活動地域	助成開始時期
1	小泉ユニバーサルビーチユニット	水環境を整え自然を保全していくまちづくり	宮城県	第19回 (2024年度)
2	公益財団法人 水島地域環境再生財団	瀬戸内海の守り人 "海ボウズ" 育成プロジェクト	岡山県	第19回 (2024年度)
3	NPO法人オン・ザ・ロード	沖縄でのビーチクリーンと アップサイクル体験による5R普及活動	沖縄県	第19回 (2024年度)
4	NPO法人さざなみ	習志野の海を守る会 「とりもどせ！ぼくたちの海」	千葉県	第18回 (2023年度)
5	認定NPO法人 エバーラスティング・ネイチャー	絶滅危惧種であるウミガメ類の 海洋ゴミ誤食調査と普及啓発イベント	神奈川県	第18回 (2023年度)
6	NPO法人 おおいた環境保全フォーラム	豊かな水環境を目指す 別府湾エコ コーストプロジェクト	大分県	第18回 (2023年度)
7	NPO法人 エー・ビー・シー野外教育センター	子どもたちのウエス作りが 別府市の水環境を変えていく！	大分県	第18回 (2023年度)



「TOTO水環境基金」ホームページ <https://jp.toto.com/company/csr/mizukikin/>

ウェブサイトでは、各団体の活動内容について写真を交えて紹介。
活動に携わった方や現地の皆さんの喜びの声も紹介し、
より具体的に活動の目的や意味・成果をお伝えしています。

Shared Value Creation Strategy TOTO WILL2030

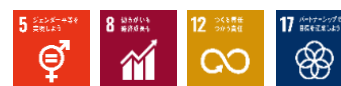
Cleanliness and Comfort; Wellness



Environment



Relationships



The New Shared Value Creation Strategy, TOTO WILL 2030, will simultaneously realize environmental, social and economic value. In it, we have established the materiality issues of cleanliness and comfort, the environment and relationships, that we will work on to integrate management and CSR and contribute to the achievement of the United Nations' Sustainable Development Goals (SDGs).

<https://www.toto.com/en/corporate/>